



2年 研究授業実践報告

【単元名】『スイミーの気持ちの変化に着目して読み、物語の紹介文を書こう』（全7時間）

【教材名】「スイミー」（光村図書／2年上）

【単元のゴール】「レオ＝レオニのさくひんをしょうかいしよう」

【本時の目標】

- ・登場人物の行動や決意を表す言葉に着目し、スイミーの気持ちが大きく変わったところや、その理由について具体的に想像して考えることができる。

【本時の展開】第5場面：大きなマグロを追い出した場面（本時6／7）

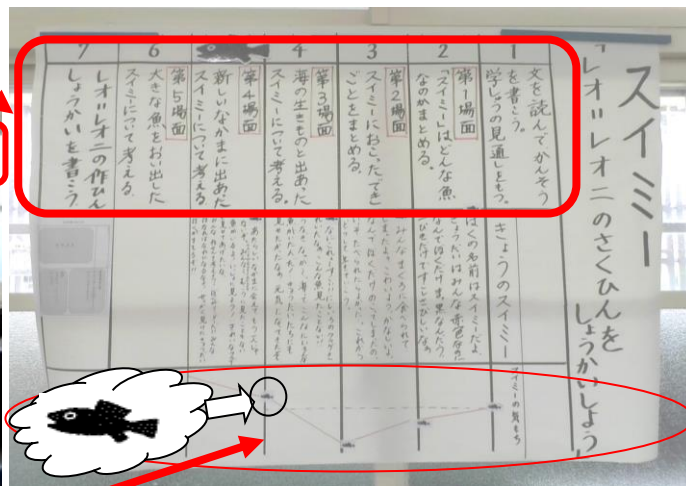
【中心発問】

大きな魚を追い出したときのスイミーについて考えよう

①前時までのふり振り返り⇒第5場面の音読

- ・前時までの「今日のスイミー（感情曲線）」を全員で確認し、今のスイミーがどんな気持ちか考える。
- ・本文の中で、「みんなで大きな魚になろう」とスイミーが提案し、練習を重ねたことをふり返る。

ゴールを明確にし、子どもたちと共有



「スイミーの気持ち」を感情曲線で考える〔なぜそう思ったのか根拠を持って考える〕

【子どもたちの発表】

- ・自分だけ黒くて変だと思ってたけど、ぼくが目になって、役に立てるときがきて、すごくうれしいから、スイミーの気持ちはずっと上のほう。
- ・「ようし、これでマグロを追い出せるかな。みんながんばろう。」という気持ちだから、いろんな海の生き物に出会って少しずつ元気になってきた3の場面と、自分に似た新しい仲間に出会ってうれしかった4の場面の間くらいの気持ち。
- ・「だいじょうぶかな」という心配な気持ちだから、まんなかの高さくらい。

②大きな魚を追い出したときのスイミーについて考えよう。

- ・「ぼくが目になろう」という言葉を確認し、スイミーがどんなことを考えていたのか想像する。
- ・「今日のスイミー」で魚を追い出したときの気持ちを考える。

⇒自分の考えをワークシートに書く。

⇒グループで交流



【自分の考えを持つ】

一人ひとりが自分の思いや考えを言葉で表現し、ワークシートに書いてまとめる。

③全体で共有する。

④本時の学習をふり返る。

- ・大きな魚を追い出したときのスイミーの気持ちを考え、友だちの意見を聞いて新しく気づいたことを発表する。「友だちと同じ考えだったところ、違う考えだったところを見つけてみましょう。」

【グループでの話し合い活動】

対話を通して、子どもたちが共通点や違いを見つけ、自分の考えを「広げる」⇒「深める」につなげていく。

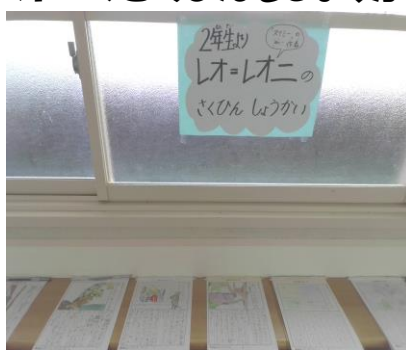
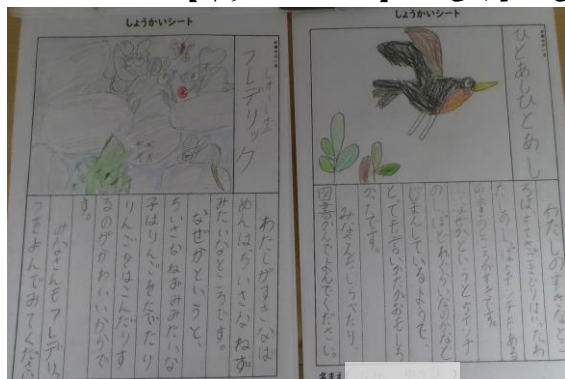
必然性のある話し合い活動

「大きな魚を追い出したときのスイミーの気持ち」話し合い活動で交流⇒新しい気づき

【子どもたちの発表】

- ・大きい魚をおい出して平和だなと思ったけど、これからもみんなで集まって、一生このまま泳いだほうが安心だなあと気づきました。
- ・「やった！大きな魚を追い出してうまくいったね。」っていう気持ちだと思うから、なかまのみんなで、おにごっこやドッジボールができるかもしれない。
- ・スイミーは海がとても広いことを知っている。だから、これからも世界中の海を平和にしたいってきつと思っっている。

【単元のゴール】 「レオ=レオニのさくひんをしょうかいしよう」



【レオ=レオニの作品紹介】

並行読書で読んだ作品を一つ選び、「好きなところ」を紹介するカードを書いて学校図書館内で全校児童向けに公開しました。また、2年生の教室前には、並行読書で読んだ本の欄にシールを貼っていく表を掲示し、読書への意欲向上につなげることができました。